

特集

予算審査

新年度予算にみる
勝山市の動きを
チェック!



予算委員会では、令和元年度一般会計の3月補正予算案、令和2年度一般会計当初予算案を審査しました。令和2年度の当初予算は約116億8000万円で、前年度と比較して約1億6400万円の減額となりました。

また、令和元年度3月補正予算は約4億7800万円を追加し約126億2800万円となりました。

委員会では慎重な審査を行い、議会の同意を得たうえで執行するよう求めた案件もありました。主な議論は以下のとおりです。

特集 1 道の駅のスケジュールと予算について

道の駅の5月30日のオープニングに向け、スケジュールと費用を審査しました。まずプレイベントとして5月3～5日のゴールデンウィークには駐車場で「テント市」を開催。同じく26日に「落成式」、30日当日には「勝ち山おやき」のふるまいを行います。年間を通しては、親子体験として鮎釣りや、あまごつかみ取りがあり、地元農産物の恐竜マルシェや九頭龍川清流まつりも実施されます。その予算としてプレイベントはPR費用やテントの会場設営等で約307万円、年間費用としては約692万円が示されました。

委員からは、テントは購入せず既存のものを利用できないか、体験は鮎だけでいいのではとの意見が出ました。それに対して理事者からはテントは雨天の場合には既存よりも大きなものが必要である。また、鮎より安価のあまごも使いたいとの答弁がありました。

※新型コロナウイルスの影響で、上記イベントの開催について、市は9月末まで中止とする方針を示しました。



建設が進む道の駅